

VOL.85
2025. May
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist

丸山果里菜×小野希子

〈丸美屋食品ミュージカル「アニー」〉

今年も熾烈なオーディションを勝ち抜いて、ふたりのアニーが誕生!!
トニー賞受賞実績のある名作を大人も子どもも楽しむ!

保存版! 2025シーズン東海3県で観ることができる
14人の演劇人による必見の舞台作品

Special Interview

畑田麻衣子×吉野実紗×横田栄司／桑原裕子

加治屋百合子

エリーナ・ガランチャ／千住真理子／権代敦彦

加藤登紀子／宇野昌磨／石井琢磨

林家つる子／愛知県芸術劇場記者会見／小松利昌

〈掲載順〉



丸山果里菜 × 小野希子 × 藤本隆宏

—— 舞台は世界大恐慌直後のニューヨーク。
孤児院の前に置き去りにされたアニーはいつか両親が迎えに来ると信じて、前向きに生きていく ——

名曲「トゥモロー」で知られるミュージカル「アニー」は、今年、1986年に日本テレビが上演をはじめてから40年目を迎える。ファミリー層に絶大な人気を誇っているミュージカルだが、近年では大人層のファンも急増している。毎年非常に高い倍率であることで知られる「アニー役／孤児役」のオーディションは一般公募によるもの。今年のアニー役（ダブルキャスト）、丸山果里菜（チーム・バケツ）小野希子（チーム・モップ）、そしてアニーと出会い、心を通わせていく大富豪のウォーバックス役、藤本隆宏に見どころを聞いた。

—— 毎年非常に高い倍率であることで知られる「アニー役・孤児役オーディション」に挑戦し、最終審査でアニーに決まった瞬間の気持ちは？

丸山：私は3度目の挑戦だったのですが、まさか選ばれるとは思っていなかったので、「本当に私がアニーなの？」と、とても驚きました。稽古が始まって、「いよいよだな」と現実感が湧いてきました。

小野：私は今回が2度目でした。選ばれたときは、まるで夢を見ているようでした。最初はただただうれしい気持ちでいっぱいでしたが、徐々に緊張感が湧いてきています。

—— アニーのオーディションに挑戦してみようと思ったきっかけは？

丸山：2022年の公演を見たことです。とても感動して、私もあんなふうに歌ったり踊ったりしたいと思い、そこから挑戦が始まりました。もともと歌うことは大好きなのですが、アニーの歌には高い音がたくさん出るので、どうやらその高い音をきれいに歌えるのが難しかったです。

小野：私は2023年の公演を見て、アニーのひたむきな姿勢やいつも前向きなところを演じてみたいと思ったのがきっかけでした。そして、お客さまに感動を届けたいと思い挑戦しました。私も高い声を出すのが大変でしたが、その分、歌えるようになったときは充実感が満たされました。

—— アニーの衣装、お似合いですてきです！

丸山：私もとても気に入っています。初めて着たときは「わぁ、本物だ!」と思いました（笑）。

小野：私も「アニーだ!」って思いました（笑）。この生地がふわふわとしているところが好きで、着心地も良いです。

—— 藤本さんはウォーバックス役で8度めの出演となりますが、今年の稽古場の雰囲気はいかがですか？

藤本：とにかく明るいですね。笑いの絶えない、にこやかな雰囲気なのが今年の特徴だと思います。それから、これは関わっている全員がそうだと思うのですが、丸山さんも小野さんも純粋にお芝居が好きで、演じることが楽しい、という気持ちが全身から溢れているんですね。大人になるとどうしても、そうした想いをストレートに表に出すようなことがだんだんとなくなってくるように思うのですが、このミュージカル「アニー」に限っては、そうした「純粋さ」というのが最も大事な精神なのだとことを、改めて、ふたりから教えてもらったように思います。

—— このインタビューが始まる直前、少し緊張された面持ちだった丸山さんと小野さんの表情が、藤本さんの姿が視界に入った瞬間にフワッと和らいだのが印象的でした。キャストの皆さんが、良好な関係を築かれているのがうかがえました。

藤本：大人キャストも子供キャストも皆、とても良い関係性が築けていると思います。でもそれ以前に、ふたりともすごくいい子なんですよ。だからこそそうした関係が築けるのだと思います。

丸山・小野：うれしいです！

—— おふたりは藤本さんのどんなところが好きですか？

丸山：全部だよな？

小野：うん、全部です！

藤本：僕もうれしいです（笑）。

—— 皆さんそれぞれにイチオシの場面があると思うのですが、教えていただけますか？

丸山：私は最初の方に歌う「ハードノックライフ」のシーンが好きです。

藤本：第1幕が始まってすぐの2曲目ですね。子供キャストが皆で歌うシーンなのですが、とても伸び伸びと元気に歌っていて、今の時点で既に非常に高い完成度です。

丸山：元氣いっぱいいの歌なのですが、その裏に孤児であるアニーの辛さが感じられ、胸がギュッとします。

小野：私は「フリードレス」です。私自身は出ていないシーンなのですが、孤児たちが楽しそうに笑いながら歌っているところを見ると、私も楽しくなります。

藤本：ラジオから流れてくるパート・ヒーリーというDJの話方を孤児達が真似しながら歌って踊るシーンですね。このシーンも良いですね。どのシーンも子供たちが本当に一所懸命で、稽古では思わず聴き入ってしまうのですが、そうすると自分の演技ができなくなってしまうので感情移入し過ぎないようにいつも気をつけているんです。今こうして、これまでの稽古のことを振り返っても目頭が熱くなります。

—— 子供達もプロとして真剣に取り組んでいるからこそですね。

藤本：勿論そうです。時には稽古で泣いてしまう子もいる

今年、日本テレビが上演をはじめて40年目を迎える。純粋に、好き、という気持ちで作品を育てる。



のですが、決して厳しい現場ではないので怒られて泣くわけではないんです。できない自分に対して悔しくて涙が出てしまうんですね。「舞台上に立つ」ということは大人も子供も関係なく、プロとして立ち向かっていかなければならないというのを子供達も皆、無意識のうちに理解しているのだと思います。私達俳優はさまざまな作品に取り組みますが、たくさんの子供達の成長と共に歩むアニーのような現場は、他にはなかなかありません。唯一無二だと思います。子供達が努力している姿を目の当たりにして、大人達も鼓舞され進化成長する。アニーにはそういう側面があります。

—— 最後に読者の皆さんにメッセージを。

藤本：ブロードウェイミュージカルの中でも、1977年にトニー賞ミュージカル作品賞を受賞した名作ですから大人

も楽しめる作品ですし、子供達が主役ということで子供達も楽しんでいただける。本当に幅広い層に感動をお届けすることができる素晴らしい作品だと感じています。ファミリーは勿論のこと、大人の方々にもぜひ会場にお越しいただきたいです。丸山さんと小野さんは、どんなところに注目してほしい？
丸山：私はアニーの気持ちの変化に注目して見てほしいです。特に第1幕から第2幕にかけての変化に感動してほしいと思います。
小野：私は、「トゥモロー」を歌うとき、サンディー（犬）に「大丈夫だよ」と語りかけるシーンがあるのですが、そういう前向きなところに注目して見てほしいです。
藤本：アニーとサンディーとの絆は稽古の賜。深い部分で心が通わなければ、ワンちゃんとの演技はできませんか

らね。名古屋公演の頃には今以上に深い絆で結ばれていると思います。

丸山・小野：千秋楽まで、がんばります！

©Interview&Text / 向後由美 ©Photo / 中野建太

8/29 FRIDAY～31 SUNDAY [チケット発売中]
丸美屋食品ミュージカル「アニー」

■会場 / 愛知県芸術劇場大ホール
■開演 / 各日11:00、15:30
■料金(税込) / 全席指定 SY9,800 A7,800
■お問合せ / 中京テレビクリエイション
TEL.052-588-4477 (平日11:00～17:00)



サンデーフォークプロモーション

TEL.052-320-9100 <https://www.sundayfolk.com/>

9/12 FRIDAY ~14 SUNDAY ミュージカル『四月は君の嘘』

6/7(土)〜チケット発売

◎出演 / 9月12日(金) 岡宮来夢、宮本佳林、山本咲希、吉原雅斗
9月13日(土) 東島京、加藤梨里香、希水お、島 太星
9月14日(日) 岡宮来夢、加藤梨里香、山本咲希、吉原雅斗
原慎一郎、鈴木結加里、武内 耕、三木麻衣子、内海大輔、飯塚明木 はか

日本発の傑作オリジナルミュージカル
ロンドン・ウェストエンド、韓国・ソウルでの
上演を経て待望の再演!

2022年、日生劇場で初演の幕を開けたミュージカル『四月は君の嘘』。原作である新川直司の漫画からTVアニメ化、実写映画としても大ヒットを記録し、NETFLIX等での配信を通じて世界的にも絶大な人気を博しました。単なる青春ラブストーリーではなく、音楽に引き込まれた若き音楽家の卵たちが大切な人との出会いと別れを通してその才能を開花させて行く、多くの人を惹きつけてやまない傑作のミュージカル版として創作期間約6年間を経て完成した本作は、『シクル&ハイド』『デスノートTHE MUSICAL』を手掛けるミュージカル界の巨匠、フランク・ワイルドホーンが作曲。昨年2024年には、ロンドン、ソウルでも現地プロダクションで上演されるという快挙を達成しました。そして満を辞しての再演! オールキャストオーディションで選出されたフレッシュな新キャストでお届けいたします! どうぞご期待ください!

■会場 / Nittera日本特殊商業市民会館フレストホール ■開演 / 各日12:00 ■料金(税込) / 全席指定 ¥14,000 A¥9,000
■チケット取扱い / 下記①③⑤⑦ ■Pコード / 533-732 ■Lコード / 41908 ※未就学児入場不可



7/6 SUNDAY 9/23 TUESDAY 平原綾香 Concert Tour 2024 - 2025 ~ The Swinging Classics! ~

チケット発売中

2003年「Jupiter」でデビュー。
20周年を迎えた2023年のアニバーサリーツアーに続き、昨年10月から今年にかけて松任谷正隆氏との共同演出プロデュースによるロングランコンサートツアーを開催、ストリングスを入れた豪華な編成でお届けする。ポップス、JAZZ、クラシックやミュージカルなど、さまざまなジャンルで活躍する平原綾香ならではの、その表現力にさらに磨きをかけた心温まる感動のコンサートをお楽しみに!!



〈三重公演〉◎7/6(日)四日市市文化会館 第1ホール
〈岐阜公演〉◎9/23(火・祝)不二羽鳥文化センタースカイホール

■開演 / 各日17:00 ■料金(税込) / 全席指定 ¥8,000
■チケット取扱い / 下記①③⑤⑦ ■Pコード / 295-365 ■Lコード / 42439 ※未就学児入場不可

穂の国とよはし芸術劇場PLAT

TEL.0532-39-3090 <https://toyohashi-at.jp>

7/5 SATURDAY 7/6 SUNDAY ザ・ヒューマンズ ー人間たち

5/10(土)〜チケット発売

◎作 / スティーヴン・ギンヤム ◎翻訳 / 広田敦郎 ◎演出 / 桑原裕子 ◎出演 / 山崎静代、青山美樹、細川 岳、柳川実代子、増子俊文、江 平田 満
劇作家・演出家として活躍するスティーヴン・ギンヤムのヒット作、『ザ・ヒューマンズー人間たち』。マンハッタンのお洒落したアパートを舞台に、感謝祭を祝うために集まったある家族の会話から、貧困、老い、病気、愛の喪失への不安、宗教をめぐる対立などが浮かび上がる一夜の物語です。人間の抱える人生の大きな不安を描くこの物語の世界は、現在のアメリカの縮図であり、それは私たち日本の現在とも重なります。

演出は、穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術監督・桑原裕子が務めます。キャストは山崎静代、平田 満ほか6名の出演者が日本初演でお贈ります。

※聴覚に障がいのある方のための「ボータブル字幕機」の貸出あり。7月6日(日)のみ。申込・詳細はホームページ。



■会場 / 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール ■開演 / 各日13:00(7月5日(土)終演後トークあり)
■料金(税込) / 全席指定 ¥16,000 A¥4,000 はか ■チケット取扱い / 下記②④ ■Pコード / 532-352 ※未就学児入場不可

8/2 SATURDAY 8/3 SUNDAY iaku

5/14(土)〜チケット発売

◎作・演出 / 横山拓也 ◎出演者 / 瓜生和成、近藤フク、真橋田夏美、竹田モモコ、菊川一仁、井上裕太、高橋紗良、小松しずか



2024年、紀伊國屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞など数々の演劇賞を受賞している劇作家・横山拓也による大阪発の演劇ユニットiakuによる新作公演でPLAT初上演。これまでのiakuとは一風変わった趣向で作劇し、「愛情」の本質に迫る“ラブコメディ”。

◎会員先行チケット5/31(土)〜発売
■会場 / 穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース
■開演 / 各日14:30
■料金(税込) / 全席指定 一般¥4,000 U25¥2,000 はか
■チケット取扱い / 下記②④
■Pコード / 533-689 ※未就学児入場不可

8/5 TUESDAY プラット親子わくわくプログラム2025 CLUB ORIGAMI (クラブオリガミ)

5/14(土)〜チケット発売

◎ダンスアーティスト / 青山山紀子、松本武士
◎作曲家ミュージシャン / ロバートワット、フアン・アンサー / 斎藤ますみ



子どもと一緒に大人も楽しめる折り紙をモチーフにした参加型パフォーマンス。巨大な紙を使って、丸めたり、ビリビリ破いたりしながら、ファッション・ダンス・生演奏が一体となったパフォーマンスを楽しもう。

◎会員先行チケット5/31(土)〜発売
■会場 / 穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース
■開演 / 11:00、15:00
■料金(税込) / 日時指定・全席自由 おとな¥1,500
■チケット取扱い / 下記②④
■Pコード / 533-722 ※推奨年齢4歳〜9歳程度 ※10歳からとなでも入場できます

名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)

〜名古屋駅からわずか10分「いなざわ」〜 TEL.0587-24-5111 <https://www.city.inazawa.aichi.jp/ica/>

7/21 MONDAY HOLIDAY 稲沢市民寄席 桂伸治 桂宮治 親子会

チケット発売中

恒例となりました桂宮治の落語会、今回は桂宮治の師匠である桂伸治を迎えて親子会を開催します。古典落語の味わいを大切に、粋で温かな語り口が魅力の桂伸治師匠。そして令和の人気落語家としてメディアでも活躍し、勢いのある軽妙な話芸で観客を引き込む桂宮治師匠。それぞれの個性が光る高座に加え、古典の醍醐味と現代の笑いが交差する寄席の魅力、を存分に味わえる機会です。落語初心者から熱心なファンまで、誰もが笑顔になる寄席をぜひお楽しみください。



■会場 / 会場 / 名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)中ホール
■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,500
■チケット取扱い / 下記③④⑤⑦
■Pコード / 533-602
■Lコード / 45261
※未就学児入場不可

チケット取扱い ①サンデーチケットセンター <https://www.sundayfolk.com/> ②プラットチケットセンター ☎0532-39-3090 <https://toyohashi-at.jp> ③名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館) ☎0587-24-5111
④チケットぴあ <https://t.pia.jp> ⑤ローソンチケット <https://l.pia.jp> ⑥イープラス <https://eplus.jp> ⑦名鉄ホールチケットセンター ☎052-561-7755(10:00〜18:00) <https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/>

可児市文化創造センターala

TEL.0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp>

7/4 FRIDAY 7/5 SATURDAY 文学座公演 「もうひとりのわたしへ」

チケット発売中

◎作 / 田村孝裕 ◎演出 / 五戸真理雄

演劇界注目の作演タッグが放つ、書き下ろし最新作!
「わたしの人生、このままでいいのかな…」
もうすぐ40歳の誕生日。決して不幸ではない生活、でも…
ふと立ち止まってしまった彼女は、違う選択をした「もうひとりのわたし」の人生を垣間見ることになる――。

あなたは想像してみてください、「もうひとりのわたし」を。
■出演 / 高橋ひろし、郡山冬果、横田栄司、畑田麻衣子、山森大輔、吉野実紗、萩原亮介、宝意紗友莉、稲岡良純

■会場 / 可児市文化創造センターala 小劇場
■開演 / 7月4日(金)18:30 7月5日(土)14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥5,000 25才以下¥2,500
■チケット取扱い / 下記①
※未就学児入場不可

7/6 SUNDAY 新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサート with 小曾根真

チケット発売中

◎ピアノ / 小曾根真 ◎指揮 / 熊倉俊 ◎管弦楽 / 新日本フィルハーモニー交響楽団



OZONE60のソロ公演でalaを沸かせた小曾根真が新日本フィルと世界でも唯一無二の「ラプソディ・イン・ブルー」で再登場! ドイツを拠点に躍進中の若き巨匠、熊倉俊を迎えてのシンフォニーと、ジャズとクラシックの垣根を超えてボーダレスに活躍する小曾根真とのケミストリーをぜひお楽しみください!

■曲目 / グリーグ:「ペール・ギュント」第1組曲、第2組曲、
コーブランド:市民のためのファンファーレ、バーバー:弦楽のためのアダージョ、ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー

■会場 / 可児市文化創造センターala 主劇場 ■開演 / 16:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥7,000 25才以下¥3,500
■チケット取扱い / 下記① ※未就学児入場不可

三重県文化会館

TEL.059-233-1122 <https://www.center-mie.or.jp/bunka/>

8/31 SUNDAY 尾高忠明 指揮 金川真弓 ヴァイオリン 大阪フィルハーモニー交響楽団 三重演奏会

チケット発売中

◎指揮 / 尾高忠明 ◎ヴァイオリン / 金川真弓 ◎管弦楽 / 大阪フィルハーモニー交響楽団 ◎曲目 / チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35、ショスタコーヴィチ:交響曲第5番 二短調 作品47「革命」

「大阪フィルハーモニー交響楽団 三重演奏会」が音楽監督・尾高忠明の指揮で実現します。チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲でソリストを務めるのは金川真弓。2025年にホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞を受賞、今勢いに乗るヴァイオリニスト・金川のチャイコフスキーは必聴です。後半はショスタコーヴィチの交響曲第5番《革命》を音楽監督渾身のタクトでお届けします。ショスタコーヴィチで数々の名演を残した大阪フィルハーモニー交響楽団との化学反応にぜひご期待ください。



■会場 / 三重県文化会館 大ホール ■開演 / 16:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥15,000 AY3,000 ※30歳以下各席50%割引
■チケット取扱い / 下記②③⑤⑦ ■Pコード / 293-185 ■Lコード / 42167
※未就学児入場不可

豊田市コンサートホール・能楽堂

TEL.0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/>

5/28 WEDNESDAY かねるくクラシック! イブニングコンサート 第64回 オルガンとソプラノのタベ

チケット発売中

◎出演 / 川越聡子(パイプオルガン)、広瀬奈緒(ソプラノ) ◎曲目 / J.S.バッハ「カンタータ第147番」より「主よ、人の望みの喜びよ」、フランク:天使の嘘 はか



気軽にクラシックを楽しむワゴンコンサート「かねるくクラシック」シリーズ。今回は、川越聡子(パイプオルガン)と広瀬奈緒(ソプラノ)の共演。多彩なパイプオルガンの音色が楽しめる名曲はもちろん、艶やかな歌声とのコラボレーションもお楽しみに!

■会場 / 豊田市民文化会館大ホール
■開演 / 19:00
■料金(税込) / 全席自由 ¥500
■チケット取扱い / 下記①
※3歳未満入場不可

6/7 SATURDAY 日本の伝統芸能シリーズ 雅楽の世界

チケット発売中

◎出演 / 伶楽舎 ◎演目 / 管絃「越天楽三返」、舞楽「青海波」 はか



アジア各地の音楽や舞と、日本古来の歌舞が融合して出来た雅楽。「源氏物語」の中で光源氏と頭中將が舞うシーンでもよく知られる「青海波」ほか、珠玉の舞楽をお届けします。また楽器の紹介に加え、装束についても解説も行います。現代まで伝わるこの雅な音楽と舞の世界を、初めての方にも楽しんでいただける構成となっています。

■会場 / 豊田市民文化会館大ホール
■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥5,000
■チケット取扱い / 下記③⑤⑦ ■Pコード / 534-083 12daysセガサール¥785-446
※未就学児入場不可

チケット取扱い ①可児市文化創造センターala インフォメーション ☎0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp> ②三重県文化会館チケットカウンター ☎059-233-1122 <https://www.center-mie.or.jp/bunka/>
③豊田市民文化会館能楽堂事務局 ☎0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/> ④かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868 <https://www.kasugai-bunka.jp>
⑤チケットぴあ <https://t.pia.jp> ⑥ローソンチケット <https://l.pia.jp> ⑦イープラス <https://eplus.jp> ⑧エムズネット <https://p-ticket.jp/center-mie/> ⑨三重テレビ放送 <https://www.mie-tv.com/>

可児市文化創造センターala

TEL.0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp>

7/13 SUNDAY かに寄席 納涼

5/10(土)〜チケット発売

◎出演 / 三遊亭小遊三、林家つる子、三遊亭万ん丈、桂九ノー



豪華顔ぶれで送る、アー夏夏の定番。

笑点でおなじみの三遊亭小遊三、異例の抜擢昇進で真打となり話題の林家つる子と三遊亭万ん丈、上方からは人気上昇中の桂九ノーが登場。期待高まる愉快な顔ぶれが揃う!

■会場 / 可児市文化創造センターala 主劇場
■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,000 25才以下¥2,000
■チケット取扱い / 下記①
※未就学児入場不可

9/23 TUESDAY マリン・オルソップ指揮 角野隼斗ピアノ ポーランド国立放送交響楽団

チケット発売中

◎指揮 / マリン・オルソップ ◎ピアノ / 角野隼斗 ◎管弦楽 / ポーランド国立放送交響楽団 ◎曲目 / バゼヴィチ:弦楽のためのディヴェルティメント、ショパン:ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 Op.21(ピアノ:角野隼斗)、ブラームス:交響曲 第4番 ホ短調 Op.98

名だたる楽団の音楽監督を歴任してきたマリン・オルソップが、東欧の名門・ポーランド国立放送交響楽団を率いて来日します! 曲目はポーランド女性作曲家の中で初めて国際的に知られたグラジナ・バゼヴィチの弦楽のためのディヴェルティメント。ブラームスの最後の交響曲にして最高傑作といわれる交響曲 第4番。そして角野隼斗が奏でるショパンの繊細な哀愁漂う旋律は忘れられないものとなるでしょう。



■会場 / 三重県文化会館 大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥19,000 ¥17,000 AY15,000 BY13,000 CY¥600(発売) ※25歳以下各席10%割引
■チケット取扱い / 下記②③⑤⑦⑧⑨ ■Pコード / 292-750 ■Lコード / 41795
※未就学児入場不可

かすがい市民文化財団

TEL.0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

8/23 SATURDAY 8/24 SUNDAY キャプテン・アメイジング

[WEB先行]6/18(水)10:00〜21(土)17:00チケット発売 [一般]6/22(日)〜チケット発売

◎作 / ハ・マクドウォール ◎翻訳 / 永田景子 ◎演出 / 田中麻衣子
◎出演 / 近藤公園(8月24日(土)公演)、松尾 諭(8月23日(日)公演) (ダブルキャスト・五十音順)

近藤公園・松尾諭のWキャストでお届け!

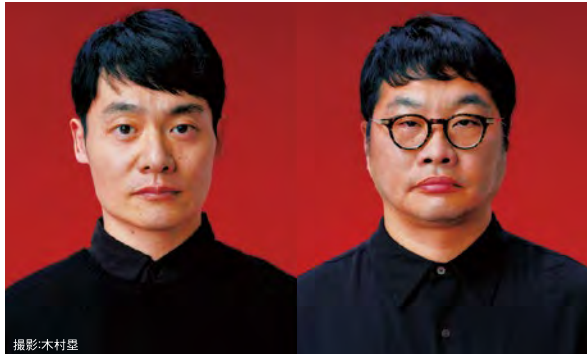
スーパーヒーローに扮する一人の男とその娘の、たった6年間の記憶の物語を描いた一人芝居。

〈WEB先行予約〉

◎6/18(水)10:00
〜21(土)17:00

※WEB会員登録が必要(無料)
チケット購入ページにて会員IDとパスワードを入力してください▶

〈一般発売〉◎6/22(日)10:00〜



18歳以下のお子様無料招待! ◎6/15(日)9:00〜受付スタート
※先着順! 定員に達し次第終了! 同団体の保護者は一般価格の半額(¥2,750)! 無料招待の詳細はコチラ▶

■会場 / 春日市東部市民センター ■開演 / 各日15:00
■料金(税込) / 全席指定(児童部小学校高学年から) 一般¥5,500 友の会メンバー¥5,000 近藤&松尾2daysセット券¥10,000 中高生¥11,000
■チケット取扱い / 下記③⑤⑦ ■Pコード / 534-083 12daysセガサール¥785-446
※未就学児入場不可、小学生は要保護者同伴 ※当日券同額 ※18歳以下は要身分証



愛知室内オーケストラ (ACO)

TEL.052-211-9895 <https://ac-orchestra.com> [チケット購入QR](#)

第88回定期演奏会

チケット発売中

ACOのACOによるACOのための一曲がコンポーザー・イン・レジデンスの権代敦彦によって生み出されました。音楽監督山下一史との共通の夢と願いが、今宵ここに実現。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 SS¥8,000 SW¥6,000
AW¥4,000 BV¥3,000 CV¥2,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※プロダ／288-181 ※未就学児入場不可

6/20 FRIDAY

チケット発売中

横山幸雄×ACO
ベートーヴェン協奏曲ツィクルス Vol.4
○指揮／横山幸雄(フレンド・オブ・ACO)
○作曲／ベートーヴェン(ピアノ協奏曲 第4番 ほか)■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 SS¥8,000 SW¥6,000
AW¥4,000 BV¥3,000 CV¥2,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※プロダ／288-181 ※未就学児入場不可

7/18 FRIDAY

チケット発売中

ザ・レジェンド
〜アンサンブルシリーズ 第4回〜
○指揮／山下一史 ○オーボエ／フリップ・ランドル
○ヴァイオリン／アウセル・ブノフ■会場／電気文化会館 ザ・コンサートホール
■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,000 一般学生¥1,000
小中学生¥500
※チケット取扱い／下記①②③ ※プロダ／294-338 ※未就学児入場不可

7/26 SATURDAY

チケット発売中

第89回定期演奏会
○指揮／原田慶太郎 ○打楽器／マーク・ドラモスキー
○オーボエ／山本直人■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SS¥5,000 SW¥4,000
BV¥3,000 CV¥2,000 ※U25各席半額
※チケット取扱い／下記①②③ ※プロダ／294-335 ※未就学児入場不可

セントラル愛知交響楽団

TEL.052-581-3851 <https://www.caso.jp> [チケット購入QR](#)

第211回 定期演奏会

チケット発売中

「マーク・マストの“悲愴”」
○指揮／マーク・マスト ○作曲／チャイコフスキー(交響曲 第6番 悲愴 Op.74 ほか)■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 プラチナ席¥7,000
SV¥5,000 AW¥4,000 BV¥3,000 CV¥2,000
※U25各席半額
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-378
※未就学児入場不可 ※U25は入場時要証明書

第212回 定期演奏会

チケット発売中

「重ねあう想い」
○出演／角田鋼亮、宮田大 ○作曲／ドヴォルザーク(チェロ協奏曲 短協奏 Op.104、
レガール・ロマンティックな組曲 Op.125、チャイコフスキー幻想序曲(ロバート・ジュリエット)■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 プラチナ席¥7,000
SV¥5,000 AW¥4,000 BV¥3,000 CV¥2,000
※U25各席半額
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-378
※未就学児入場不可 ※U25は入場時要証明書

7/5 SATURDAY

チケット発売中

超! 有名曲シリーズ Vol.11
○出演／松尾寛子、大谷慶子 ○作曲／メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲 楽短調 Op.64 ほか■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 SS¥5,000 SW¥4,000
BV¥3,000 CV¥2,000 ※U25各席半額
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-378
※未就学児入場不可 ※U25は入場時要証明書

7/19 SATURDAY

チケット発売中

2025年度は「ロマンティック・セントラル」をテーマに、情感豊かな作品で聴衆をロマンティックな世界へ誘う。212回はチャイコフスキーの描く「ロミオとジュリエット」、レーガールの「ロマンティックな組曲」。中でも、国際的な活躍を繰り広げる宮田大×音楽監督角田鋼亮の、想いが重なる「ヴォルガーク「チェロ協奏曲」は必聴。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 プラチナ席¥7,000 SW¥5,000
AW¥4,000 BV¥3,000 CV¥2,000 ※U25各席半額
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-378
※未就学児入場不可 ※U25は入場時要証明書

ゆめたろうプラザ (武豊町民会館)

TEL.0569-74-1211 <https://yumetarou-kaikan.net/> [チケット購入QR](#)

6/21 SATURDAY

チケット発売中

ゆめプラサソコンサート2025 Vol.3
「For you♡
〜甘く伸びやかな歌声〜」■会場／ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)響きホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席自由 一般・幼・アラビア¥2,000(当日¥2,300)
U25(25歳以下)¥1,000(当日¥1,200)
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-771
※未就学児入場不可
※部会および演奏曲目が変更になる場合があります
※①前売のみ(セブンイレブン各店舗で買い求めいただけます)

7/27 SUNDAY

チケット発売中

CLUB ORIGAMI
○ダンスアーティスト／青山麻紀子、松本武士 ○作曲家・ミュージシャン／ロハート・ワグネル、フリアーニ(トリノ・トリノ)より 踊る踊るはらららほほほ■会場／ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)響きホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席自由 一般・幼・アラビア¥2,000(当日¥2,300)
U25(25歳以下)¥1,000(当日¥1,200)
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／287-771
※未就学児入場不可
※部会および演奏曲目が変更になる場合があります
※①前売のみ(セブンイレブン各店舗で買い求めいただけます)

四日市市文化会館

TEL.059-354-4501 <https://yonbun.com/> [チケット購入QR](#)

6/8 SUNDAY

チケット発売中

花井悠希のミュージックカフェ
○ヴァイオリニスト／花井悠希 ○バンドネオン／小松亮太 ○ギタリスト／福井浩貴■会場／四日市市文化会館 第2ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席自由 一般¥2,000 高校生以下¥1,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／295-695 ※未就学児入場不可

四日市市観光大使・ヴァイオリニストの花井悠希が、四日市のみなさんに紹介したいアーティストとトーク＆コンサートを開催！

第3回は世界的バンドネオン奏者・小松亮太さんと、ギタリストの福井浩貴さんが登場！アーティストの裏話や聴きたいトークやここでしか聴けないライブ演奏をお楽しみください！

■会場／四日市市文化会館 第2ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席自由 一般¥2,000 高校生以下¥1,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／295-695 ※未就学児入場不可■会場／四日市市文化会館 第2ホール
■開演／15:00
■料金(税込)／全席自由 一般¥2,000 高校生以下¥1,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／295-695 ※未就学児入場不可

パティオ池鯉鮒 (知立市文化会館)

TEL.0566-83-8100 <https://patio-chiryu.com> [チケット購入QR](#)

6/6 FRIDAY

チケット発売中

開館25周年記念
野村万作・萬斎 狂言の会
○出演／野村万作、野村萬斎、野村裕基 ほか ○演出／解説、栗原孝子(神楽、狂言「東の国」)、「二人様 三段芝居」■会場／パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)かつばたホール
■開演／15:30
■料金(税込)／全席指定 SS¥5,000(会員¥4,500) AW¥4,000(会員¥3,600)
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／538-422
※未就学児入場は親子席に限り、※バリエーションはのり取扱い(バリエーションと会員席時算入)
※車椅子スペース・親子席は④へご予約ください(先着順)

9/27 SATURDAY

チケット発売中

開館25周年記念
石川さゆりコンサート
○出演／石川さゆり■会場／パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)かつばたホール
■開演／15:30
■料金(税込)／全席指定 SS¥7,700(会員¥7,000)
AW¥6,600(会員¥6,000) BV¥5,500(会員¥5,000)
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／296-407
※未就学児入場は親子席に限り、※バリエーションはのり取扱い(バリエーションと会員席時算入)
※車椅子スペース・親子席は④へご予約ください(先着順)解説付きで楽しむ本格古典芸能!
人間国史・野村万作、多彩に活躍する野村萬斎、裕基の親子三代を中心とする狂言会。

古典ならではの和やかな笑いをお楽しみください。

「津軽海峡・冬景色」「天城越え」など名曲の数々をフル編成のバンドと共に贈る圧巻のステージ!

「パティオ会員」になると一週間早し、5月17日(土)〜チケットをお買い求めいただけます。

※発売日は混雑が予想されますので事前にお手続ください。

■会場／パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)かつばたホール
■開演／15:30
■料金(税込)／全席指定 SS¥5,000(会員¥4,500) AW¥4,000(会員¥3,600)
※チケット取扱い／下記①②③ ※コード／538-422
※未就学児入場は親子席に限り、※バリエーションはのり取扱い(バリエーションと会員席時算入)
※車椅子スペース・親子席は④へご予約ください(先着順)

亀山市文化会館大ホール

TEL.0595-82-7111 <http://kameyama-bunkakaikan.com/> [チケット購入QR](#)

9/21 SUNDAY

チケット発売中

My Little Lover 30th Anniversary
☆ Akko Band Quintet 2025 #2
6/14(土)〜チケット発売

My Little Loverデビュー30周年を記念して、全国ツアー開催が決定!!

透明感あふれるAkkoの歌声とともに、30周年を彩る名曲の数々を、今年春に開催されたツアーに続き、バンドメンバー古川昌義(G)、楠井五月(Ba)、沼澤尚(Dr)、ミトコツキ(Key)と奏でさらに進化したバンドサウンドでお届けします。

My Little Loverの音楽を聴いてくれている方、ライブに足を運んでくださる方、関わってくれているたくさんのミュージシャンやスタッフへの感謝の気持ちを込めて、このツアーも大切に音楽を届けていきたいと思っていますので、皆さまのご来場を心からお待ちしております♪

■会場／亀山市文化会館大ホール
■開演／16:30
■料金(税込)／全席指定 ¥7,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※未就学児入場不可
※主催／(公財)亀山市地域社会振興会(亀山市文化会館)
※後援／公益財団法人レオパレスFM三重、三重テレビ放送株式会社、株式会社TJV
※協力／トップジャン■会場／亀山市文化会館大ホール
■開演／16:30
■料金(税込)／全席指定 ¥7,000
※チケット取扱い／下記①②③ ※未就学児入場不可
※主催／(公財)亀山市地域社会振興会(亀山市文化会館)
※後援／公益財団法人レオパレスFM三重、三重テレビ放送株式会社、株式会社TJV
※協力／トップジャン

SPECIAL INTERVIEW 02 エリーナ・ガランチャ Elina Garanča

「今世紀最高のカルメン歌い」が、遂に名古屋の舞台に立つ!

世界中のオペラの殿堂で、絶大な支持を集めるメゾソプラノのエリーナ・ガランチャが、とうとう名古屋へやってきます。世界を席にする「ガランチャのカルメン」に加え、数々のオペラの名曲を新日フィルと共に披露する豪華コンサートです!

—— 現在のあなたにとって「カルメン」はどんな役ですか?
今回のプログラムで、思い入れのある作品も歌っていただきます。カルメンは、私のキャリアを決定づけた役であり、長い年月をかけ、そのつながりも進化してきた役です。カルメンを歌い始めた当初は、彼女の情熱、強さ、独立心に惹かれていましたが、今は、カルメンの中にある、もっと深いところを見えています。今回のプログラムは、女性的なパワーとエネルギーのある面を現実に表現していて、私の心に語りかけてくる作品ばかりです。それそれぞれが異なる種類の力を表現していて、女性の持つ精神のユニークで魅力的な側面を表現しているのだから、どこか一つを選ぶことは難しいですね。—— 近年の印象に残っている公演についてお聞かせください。
最近の活動の中で、私の心に深く響いた公演のひとつは、今年初めにウィーン国立劇場で上演された「カヴァレリア・アルステル・カヴァレ」です。歌手として、時に私たちに染み込む役と共に生きることもあります。舞台上で情を吹き込まれたキャラクターが、鏡のような役割を果たし、私たちが長い年月をかけてどのような人間になったのか、どれほど感情的に強弱があるのか、自分の強さや繊細さを自覚しているのか、理解力があるか、頑固であるのか、そうしたことを映し出すとしたら、それは自分自身だけでなく、観客にとっても有意義な経験になります。—— 一次世代の音楽文化を育成する活動にも積極的に取り組まれていますね。
[Zukunft's Stimmen] (若手人材育成制度「未来の声」)は、私の長年の夢の実現です。2019年にアイデアが生まれ、夫のガレル・マウ・チヤンと一緒に創設しました。この取り組みを通して若い歌手たちに、私と一緒にの舞台に立つ機会を提供するだけでなく、オペラ界での難局を乗り切るために必要なサポートやアドバイスを提供することを目指しています。彼らの才能の成長を目の当たりにし、彼らの未来を形作る一翼を担っていることを知るのには、かつて私に与えられたことをお返しできたいという意味でも喜びと感謝にあふれています。—— 演奏家として日常生活で気を付けていることは何ですか?
キャリア、社会的責任、家庭生活のバランスをとることは、難しいことであると同時に、私に強さと目標を与えてくれるものであります。肉体的、精神的な健康を維持するためには、規律を守る必要が不可欠です。パフォーマンスを満喫を見つめることも、とても大切です。家族、とりわけ2人の娘と過ごす時間は、私にとって信じられないほどに重要なものです。娘たち、自然、家庭菜園は、私にとって地に足を付けさせ、舞台の向こうの人生を思い出させてくれるものです。オペラ歌手の「ガランチャさん」にとっても、母であり、妻であり、友人であり、庭師であり、バズル解きでもある「エリーナ」にとっても、そんな充ちた「保養の場」が必要なのですよ(笑)。6/19 THURSDAY [チケット発売中]
「エリーナ・ガランチャ
オーケストラコンサート」
■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール
■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 SV¥22,000 AW¥18,000 BV¥15,000
CV¥12,000 U25¥9,000
※お問合せ／愛知県芸術劇場
TEL.052-954-1107(平日10:00~17:00)

SPECIAL INTERVIEW 03 千住真理子 Mariko Senju

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

ヴァイオリニストの千住真理子が自身のデビュー50周年を記念し、兄で日本画家の千住博、作曲家の千住明とのコラボレーション公演を行う。3兄妹のコラボレーションは、これまで2000年のた1度きり、記念年にふさわしい特別な会が実現する。

—— 「個で認められるまでは」と、これまで兄妹での公演を控えてきましたが、25年ぶりに実現するのですか。

—— 千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

千住家の軌跡 芸術家三兄妹のコラボレーション

SPECIAL INTERVIEW 04 権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

権代敦彦 Atsuhiko Gondai

SPECIAL INTERVIEW 05 Tokiko Kato

加藤登紀子 歌手活動60周年記念コンサート

大学在学中の1965年に日本アマチュアジャンソソコンクールで優勝し、歌手活動を始めてから常に第一線で活躍を続けて60年。現在、大規模な全国ツアー開催中の歌姫が7月、愛知県芸術劇場コンサートホールに登場。

—— 歌手・作曲家として、半世紀以上にわたって日本の音楽シーンを牽引してきました。

最初は「川」の流れのように「歩いて来た」と歌っていらっしゃいましたが、私は水のように今もこんなと流れています。子どもの頃から川を眺めて、水が岩にぶつかって白い波をあげたり、くもると迂回してまた進んで行くのを見るのが好きでした。行く手に何が待ち受けていると前に向かって流れていくしかないと思ってこれまでも活動を続けてきました。例えばハリハールを入念にやっても、本書では何かあるかわからない。私が急に違うことをやっていたと直前に「あの…ちょっと今朝ひらめいたんだけど」と切り出した時の、スタッフみんなの「またか!」っていう顔が目に浮かびます(笑)。準備万端が大好きな日本社会の中で、私は想定外のことがばり起きてきたり、光太郎は「僕の前には道はない」僕の前には道は出来た」と言っていますが、私は水がちょっとの隙間に入り込むように、たとえ岩に塞がれてしまっても必ずと言って飛んで行って、どこかに先に進みたい。だから「道程」風に云えば「私の後ろには道はない」

—— 今回のコンサートツアー「for peace 80歳の祈り」に込めた想いについて教えてください。

最初「for peace」だけだったのですが、誰もが平和な世界を望むに決まっているのに、そこに辿り着けない難しさが問題なのであって、そのことにもっと具体的なビジョンをつけないといけないと思って「80歳の祈り」という言葉を追加しました。ちなみに「80歳の祈り」は鴨川で農業を営んでいる歌手で娘のYaeが、酷暑によってひび割れた畑で太陽に灼かれて枯れた夏野菜を見て、近年の気候変動の激しさを実感して書いたメッセージソング(※2023年発売の同名アルバムに収録)のタイトル。まるで地球の叫びが聞こえてくような曲を私も今回、カヴァー曲としてレコーディングしました。今や戦争を終わらせるだけでなく、地球上のすべての人々が未来へ危機感を持って、どうやら生きて行けるか、同じテーマについて一緒に真剣に考えなくてはならない時代。答えはすぐには出せないけど、少なくとも歌で分断された心を繋いでいけたらという願いを込めました。—— その(80歳の祈り)などの新曲や新録を含む60周年企画

の最新アルバム「for peace」も5月21日に発売されますね。

(80歳の祈り)はYaeもコーラスで参加してくれて、彼女のヴァージョンとはひと味違う面白いアレンジになっているので期待ください。また(サルダーナ)という曲はコロナ禍の2020年の夏にテレビで観た、大井競馬場から牝馬がフンスを跳び越えた事件からインスピレーションを得て書いた曲。カタルーニャ地方の伝統舞踊で団結と平和のダンス「サルダーナ」と同じ名前が素敵だと思ってダンスなナンバーに仕上げました。これらを始めとする新曲に加えて、Disc1では「for peace」をテーマに代表曲の(百万本のバラ)や(愛の賛歌)も新たにレコーディングしました。Disc2「LIFE」では中森明菜さんが歌って大ヒットした(難破船)や映画「紅の豚」のラストテーマ(時には昔の話を)を新録。それ以外には私の人生をテーマに(ひとり寝の予守男)や(この世に生まれてきた)から私の作詞作曲したオリジナル曲をほぼ年代順に並べた自選集になっています。今回のツアーはこのアルバム収録曲を中心にお届けしますの楽しみに。

©Interview&Text / 東端哲也

7/20 SUNDAY [チケット発売中]
「加藤登紀子 60th Anniversary Concert 2025 for peace 80歳の祈り」

■会場 / 愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演 / 14:30
■料金(税込) / 全席指定 ¥7,000 学生 ¥3,000
■お問合せ / サインプロモーション
TEL.06-6225-2237(平日10:00~18:00)



SPECIAL INTERVIEW 07 石井琢磨 Takumi Ishii

Youtubeでも大人気! 脂ののったピアニストがドイツの名門オケと共演

新進気鋭のピアニスト、石井琢磨がベルリン交響楽団の来日ツアーに参加、海外オーケストラと初共演を果たす。You tubeチャンネルでも幅広くファンを開拓してきた石井が、また新たなターニングポイントを意識した大舞台。その心境や演奏曲の聴きどころなどを尋ねた。

—— ドイツ音楽をしっかりと弾けるピアニストとして推薦され、共演が突っさそうでした。

僕はウィーン国立音楽大学で学びましたが、最初の師匠がローランド・クレーマーというドイツ人の先生だったんですね。ドイツ流派の中で王道中の王道を学んできたので、その音楽の作り方には精通しているほうかなと思います。ドイツ音楽のいちばんの良さは、脈々と続いた歴史を感じられるところ。例えばフランス音楽が「路上に咲いた一輪の花」に見立てられるとしたら、ドイツ音楽は大きな森林や太い幹を想起させる。その壮大さ、偉大で地に足のついた作品性がドイツ音楽の魅力です。本当に森に包まれているような感覚に陥りますよ。

—— 30代前半は海外オケと初共演する心境は?

話 came 時は「ドッキリかな」と思いました(笑)。先日指揮者の茂木大輔さんに「音楽家としてのターニングポイントになるね」と言われ、めちゃくちゃ緊張し始めて…(苦笑)。確かに分岐点にはなりますよ。音楽家として成長できるか、良い方向に自分を導けるのか。今回の巡り合わせは、そのためのチャンスだと考えています。

—— ベルリン交響楽団の特色を教えてください。

去年開きに行った時は、古き良き伝統を大事にしたサウンドクオリティを持っている印象を受けました。またリハーサルの際に裏側に拝見したんですが、団員のみなさん、仲がいいんですよ。子ども連れの方もいて、他の団員と一緒にご飯を食べる様子などから、フレンドリーな感じの特色かなと。それはサウンドにも表れていて、アンサンブルが抜群にいい。親しみやすいと格好が混じり合った素晴らしいオーケストラです。

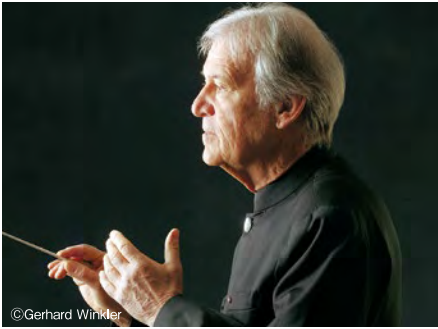
—— 演奏されるシューマンのピアノ協奏曲についてお聞かせください。

この曲は主題にある「シララ(C-H-A-A)」という4 つの音がシューマンの妻クララの「Clara」を暗示していて、彼女に捧げた曲でもあるんです。最初すごく暗い感じでしたが、最後は明るく終わる。やがて成す曲でもあるので、意の物語として聞けるのもいいですよ。シューマンは常人ならなさる発想力を持った作曲家で、クララという人間に出会って人生が大きく変わっていきます。強烈に人を愛するとはこういうことなんだと思われたい。愛に生きた作曲家ですね。

—— 子ども頃は名古屋でお過ごしでしたが、特別な思い出はありますか?

名古屋はピアニストの道に進む「みちるべ」となった場所なんですよ。当時がサッカーもやっていた進路に迷っていました。そんな中学生時代、ピアノの発表会で知らない貴婦人から「あなたの演奏を聞いて幸せになったわ。ありがとう」と言われたんです。サッカーで誰かに「幸せになった」と言われる未来は見えなかったけど、ピアノではあるかも、そういうことを生業にしたいと思った。ピアノが好きになったんです。その貴婦人は音楽をお好きな方でしょうから、僕にとってミュージズです。第2の故郷、音楽人生の始まりの地である名古屋、大好きです!

©Interview&Text / 小島祐未子



©Antonija Richter

©Interview&Text / 小島祐未子

©Interview&Text / 小島祐未子

6/14 SATURDAY・15 SUNDAY [チケット発売中]
Colantotte Presents
宇野昌磨アイスショー「Ice Brave」愛知公演
■会場 / 愛知国際センター 大ホール ■開演 / 18:45
■料金(税込) / S席 ¥13,000 A席 ¥10,000 B席 ¥7,000
■お問合せ / クラシック名古屋 TEL.052-678-5310

©Interview&Text / 小島祐未子



2024年に競技から引退したフィギュアスケーター、宇野昌磨が待望の再始動を発表。自身が主演のアイスショー「Ice Brave」を初プロデュースする。信頼を寄せるスケーターたちも共演に迎え新たな挑戦もそのようなものなのか。記者会見で熱い想いが語られた。

—— 「Brave」は「勇敢な」「勇気」といった意味ですが、そこに込められた想いは?

タイムリで難しいです。何もないところから考え、かっさささでも自分にちょっと合わないと思ったら取っさかした。そのあっぱれを制作の方と話してたくさん候補が出た中、「Ice Brave(アイスブレイブ)」が自分の軌跡にいちばん近いかなと。僕の強みは気持ちの面で前に行くこと。スケートに対してエネルギーに全力で向き合えるところは自分でとれる武器だと思うので、満場一致でこのタイトルに決まりました。

—— どんな方向性や完成を目指していますか。

僕がプロデュースしてメインで出演するショーではあるんですけど、参加するメンバー全員で作り上げていきたいかな。みんなそれぞれの、最高のものを自分上げていきたいんです。そして全部終わった後「すごい時間だったね」と振り返れるようなものになりたい。みんな仲間ではありますけど、あたためて心から思うショーにしたいというのが、やりたいことの第一歩にあります。

—— 曲はどんな構成ですか。

2曲を除いて全て僕が現役時代に滑った演目で構成します。エキシビジョンナンバーも含めると十何曲です。競技を終えた感謝の気持ちも込めながら、再始動にあたって「ここまで成長できました」という部分も見せられたいかな。過去のプログラムを僕以外の人が滑ることもあります。競技でやったものをショーにすることで、よりクオリティを高くリニューアルしたいと考えています。

—— 共演者の人選理由は何?

同じ方向性と一緒に走ってってくれる人…と仲いい人(笑)。みなさん個性も技術もありますが、長期リハーサルするとなったらやっぱり人間性も問われる。一緒にやっていると楽しいほうが必然的に努力だと思わず良いものを作ろうとする、自然と練習できますよね。



https://kyodo-osaka.co.jp/search/detail/10603 キョードー大阪 TEL.0570-200-888 (12:00~17:00 土日祝休み)

SPECIAL INTERVIEW 08 林家つる子 Tsuruko Hayashiya

豪華な顔ぶれが揃った夏の風物詩「かに寄席 納涼」、話題の林家つる子も登場!

今年の「かに寄席 納涼」は、人気長寿番組「笑点」でおなじみ三道亭小遊三、異例の抜擢昇進で真打となった話題の林家つる子と三道亭幸丈、上方から人気上昇中の若手、桂九ノが登場します。そこで、初登場の林家つる子に、真打昇進や岐阜の思い出話を聞きました。

—— 昨年3月に12人抜きの抜擢真打が発表されて1年。どんな日々でしたか?

真打披露興行をさせていただき、あっという間に過ぎましたが、生涯に残る1年だったと思います。前座修行から始まった落語家人生で、真打昇進は一生に一度しかないもの。そこを目指して日々修行に明け暮れていたの、ついにその時が来たのだなと実感しました。これから先、辛いことがあっても真打披露興行のことを思い出して、いろんなことを乗り越えているのではないかなと思う毎日でした。

—— 真打になられたことで落語の向き合い方に変化はありましたか?

寄席の最後に上がる立場になったことで、責任感がより強くなったなと思います。寄席の端はりの名前しか出ないで、初めて囃も立てていただいて、お客様を楽しませたい、喜ばせたいという思いもより大きくなりました。

—— つる子さんは、大学時代は中央大学の落語研究会に

所属されていたので、2008年には岐阜県の「全日本学生落語選

大会」で優勝しました。大学2年生の時から3年間、「笑伝大賞」に出るためにみんなで深夜バレーに乗って岐阜に通い続けました。「笑伝大賞」は全国各地の落語研究会が一堂に集まるという本当に濃い空間が生まれていて、初めて決勝に進出した年に賞をいただけることはすごく大きな経験でした。そこに出かけた学生たちからいろいろな影響を受けました。その後は大賞を目指して毎年、参加していたのですが、みんなが注目でいただいていたにも関わらず、その期待に応えられなかったという悔しさがありました。その悔しさがあつたからこそ、より落語を突き詰めたという思いが生まれました。

—— そうだったんですね。

その年、落語の「全国女性落語大会」(ちりとてんちん)で優勝させていただいて、すごくいい結果になる時もあれば、そうじゃない時もあることを痛感しました。お客様の反応もそ

うですよ。同じ囃をしても、いい時もあれば、そうでない時があります。大学時代に「笑伝大賞」や「ちりとてんちん」に挑戦したことで、「プロの落語家になったら、そこも突き詰めていけるのかな」という意識が芽生えていったと思います。

—— 大学2年生の時に、つる子さんの人生が大きく動いた

感じですね。

「笑伝大賞」の受賞特典として大賞の方と二人で名古屋の大須演武場の高座に上られるチャンスをくださったんです。しかも柳家権太楽師が見てくださるということで、もう意気揚々と行ったのですが、師匠は二人に対してびっくりするくらい厳しくされて…。悔しさもありましたが、「学生にこんな真剣に言ってくれたんだ」という思いもあって、落語家の世界に入ったら、こういう指導もいただけるのかな」と思ったきっかけでもありました。そういうこともあって、岐阜県は本当に思い入れが強いので、私が落語の頃から知っているという方がいらっしゃるのも嬉しいですね。

©Interview&Text / 若本和子 ©Photo / 佐藤純子

©撮影協力 / 天満天神楽亭、words cafe.

7/13 SUNDAY [チケット発売中]
「かに寄席 納涼」

■会場 / 可児市文化創造センター 大ホール ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,000 25歳以下 ¥2,000
■お問合せ / 可児市文化創造センターチケットデスク TEL.0574-60-3050(9:00~19:00 火曜日休館)



SPECIAL INTERVIEW 09 小松利昌 Toshimasa Komatsu

俳優・造形師・コント師、多才すぎる男の多彩すぎる祭

NHK連続テレビ小説「らんまん」やバラエティ番組「プレバト!!!」でも知られる小松利昌がライフワークのソロコントライブ「コマツマツリ」を東京・大阪以外で初公演する。名バイプレイヤーとして多才な小松が、俳優業と同様に愛を注ぐアプレコについて語ってくれた。

—— ソロコントライブを始めたきっかけは?

僕は物を作るのがすごく好きなんです。大学を出て俳優でまだ生活できなかった頃はテレビ局の美術のアルバイトとか、動く看板やコメントを作る会社で仕事をしていて、造形物をいろいろ作るうちにどんな好きになって…。作った物を見る人に見てほしいというのが初期衝動ですね。そして、それらを効果的に見るにはどうしたらいいか考えたところコントになったんです。最初はシンプルに、顔がすごく長いおじさんの小道具を作りた。そのキャラクターが生きているにはどんなストーリーがいかに考えるみたいな感じでした。

—— 例えば人気作「ドリルマスター」もそうですね。

あれは歯医者さんで治療してもらいながら、気を紛らわそうとして発想したんです。このドリルが腕に付いていると面白くないかなと。また、あのネタの時は「コンセプトマン」という話も同時に考えていて、ネタを一つだけ考えていると行き詰まったら時に困るのを、複数のネタを頭の中で走らせて、こっちが停まったら次こっちみたいな同時進行させるんです。だから時々混ぜてみようという現象が起きます。油絵の画家は数枚を並行して描いたりするんですよ。絵具が乾くのに時間がかかるので、こっちが乾く間にこっち仕上げようとか、僕も、そうやって油絵を描くイメージですね。ただ、「カニミ」に関しては2.5次元ミュージカルをオジサンでやったら面白いだろうと思って、昔話の「さるかに合戦」と2.5次元ミュージカルの「チヌスの王子様」をオマージュして一緒にしました。2.5次元ミュージカルで知らない人、知らないの、笑ってもらいやすいため誰でも知っている話と混ぜたんです。

—— 影響を受けた方はいいますか。

ラジオのDJで去年引退された小森まさみさんですね。東海ラジオが全国4局ネットで放送していて、大阪で聞いていました。僕は学生時代、小森さんの番組のハガキ職人をやっていたんですよ。公開放送もあって、日本ガイシホールでイベントがあった時、僕は番組をパロディにした人コンマみたいなものをやらせてもらったんです。人前でコントをやったのはおそらく初めて。人前で何か表現するのすごく怖く、生きていく上で大事にすることのヒントをもらいました。中学時代はいじめられていたほうで、友達も作れずラジオばかり聞いていたんですが、小森さんのラジオには心が救われたので、命の恩人のところがありました。

—— 構成で気を遣うのはどう?

パロディやバカいネタの後はグッとネタを置くとか、雰囲気がかぶらないようにバラエティに飛んだ構成を意識しています。コース料理みたいな見てももらいたくない、コント1本1本という1つ1つの作品みたいな見てももらいたくないという思いがあります。今回は20年以上やってきた中からすごく自信のあるネタを持っているので安心して楽しみにしてください。春日井じゃないと成立しないアイデアも考えます!

©Interview&Text / 小島祐未子

土岐麻子(ときあきこ) 東京生まれ。Cymbalsの元リードボーカル。数々のCMソングの他、他作品への歌唱・作詞参加、テレビ・ラジオのナビゲーターを務めるなど、声のスペシャリスト。最新アルバムは2024年12月にリリースの約3年ぶりとなるオリジナルアルバム「Lonely Ghost」。

「土岐麻子 ~Sentimental Journey 2025~」

(名古屋公演) 6/8 SUNDAY [チケット発売中]
■会場 / NAGOYA JAMMIN' ■開演 / 18:00
(神戸公演) 6/14 SATURDAY [チケット発売中]
■会場 / クラフツ世界 ■開演 / 18:00
(札幌公演) 7/4 FRIDAY [チケット発売中]
■会場 / cube garden ■開演 / 19:00
(仙台公演) 7/5 SATURDAY [チケット発売中]
■会場 / 仙台555-1劇場 ■開演 / 18:00
(広島公演) 7/24 THURSDAY [チケット発売中]
■会場 / Live Luce ■開演 / 19:00
(福岡公演) 7/25 FRIDAY [チケット発売中]
■会場 / The Voodoo Lounge ■開演 / 19:00
[全公演共通] ■料金(税込) / 全席自由 ¥7,500(ドリンク代別)
※未成年者入場不可※お一人様1公演につき4歳まで申込み可
【オンライン先行受付(オープニング)】
◎受付期間: 4月19日(土)12:00~5月11日(土)23:59
◎受付URL: https://opplus.jp/tokiasaki/



4月12日 土曜日(晴れ)

10年ほど前から「花」が見えるようになった。街路樹の花、誰かの家の木に咲く花、アスファルトの裂け目から生えている花…それまでは道を見ているけどなんとなく気づかなかった花たちに、急に心惹かれるようになったのだ。みずみずしく咲くその姿をなんとなく記憶しようとしてスマホで写真を撮った。自然が持つ絶妙な配色を眺めて感心したり、ガードレールに咲く季節外れのヒマワリに話しかけたら…。知り合いがインスタで「#お花おばさん」的なハッシュタグをつけて花の写真をアップしていたが「あ、これのことか」とやっとなにに落ちた。年齢とともにあらわれる数々の変化のなかでも、「お花おばさん」は嬉しい変身だった。たいてい、夫はいつも少し離れたところで待っている。「見てよこのランタナのカラーリング! ピンクの花と黄色の花がひとつの房におまわって不思議だね!」などと話しかけると「ほんとだね」と返してくれるが、頑張って合わせてくれているのがよく分かる。傾向として、男性はそうなりくいのだろうか? 私の周りにお花おばさんはいなかった。

しかし今日、それは間違いないと分かった。大学のときの男性の友人3人が植物園を散策してきたとことで、写真をシェアしてくれたのだ。かつては植物に全く興味がなかったのに(バンドマンだった)、みな最高に楽しかったという。どの写真も緑緑緑で、拡大してみると端っこに木に魅入る友人、説明書きの写真を撮る先輩、またそれを撮る友人…といった味わい深いおじさんたちの姿が無限におまわっていた。しかも後ろ手に手を組んでいるではないか。あのころ近所に住んでいたおじさんのことを思い出してなつくかった。「お花おばさん」になった私より10年ほど遅れて、みんなは「草木おばさん」に変身していた。お花おばさんと違って草木おばさんはカメラ目線の集合ショットではなく、みな植物を離れ顔で眺めている姿が印象的だった。それは草木の知見を得て満たされている顔のこと。昔はカメラを向けられるとチョコケたりしたのだ。

私たち、ほんとうに大人になったね。

GORO NOGUCHI EXTRA
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide

Special Interview

野口五郎

デビュー55周年イヤーを迎え、billboard classics に初登場!!
自身のヒット曲をはじめ、マルチな活動で彩られた人生を映す
歌の数々をフルオーケストラをバックに披露する。

billboard classics

野口五郎

PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2025

KEEP ON DREAMING

[愛知] 6/18 WEDNESDAY 18:00 start
愛知県芸術劇場 コンサートホール

